

【O11】神経学的音楽療法 ～最新の知見と実践～

【講師】小日向 直美

【要旨本文】

神経学的音楽療法 (Neurologic Music Therapy: NMT)とは神経疾患による運動・言語 (コミュニケーション)・認知 (高次脳機能)・社会的行動の障害に対し音楽を治療的に使用する療法です。NMTの対象は脳卒中、外傷性脳損傷、パーキンソン病、ハンチントン病、脳性麻痺、アルツハイマー型認知症、自閉症などの神経疾患です。NMTでは、運動領域3つ、言語領域8つ、認知領域9つの標準化された技法を用いて対象者の機能回復を図ります。

NMTを効果的に実践するためには、対象者の症状、状態、ニーズを理解し、音楽の神経生理学的影響および音楽知覚に関する知識を持ってNMTの技法を実践・応用する必要があります。

本講習では

- ・対象となる症状の基本的情報
- ・機能評価法 (対象者固有のおよび標準化された評価方法例)
- ・機能的ゴールの設定
- ・音楽の神経生理学的影響および音楽知覚に関する知見
- ・NMT技法の実践方法とその効果
- ・日常生活への般化

について、症例を用いてお話したいと思います。

また、NMTの導入や実践にあたり、様々な疑問が生じると思います。疑問を解決する方法として、NMT研修会やNMTに関するウェブサイト、サポートグループ勉強会などもご紹介する予定です。

【講師プロフィール】

米国認定音楽療法士、NMTフェロー。NMTアカデミーアシスタントファシリテーター。

2004年ナロパ大学大学院トランスパーソナルカウンセリング心理学科音楽療法専攻(修士課程)修了。

2006年～現在まで医療法人吉栄会グループ音楽療法士。2007年～現在までNPO法人日本神経学的音楽療法協会副理事。2017年～現在まで昭和大学医学部リハビリテーション医学講座特別研究生。